

旧開智学校校舎へようこそ

旧開智学校校舎は、1870 年代に流行した擬洋風建築で知られている。現在は博物館として公開されているが、もともとは日本で最初の公立小学校の一つであった。2019 年、旧開智学校校舎は、教育建築物としては初めて国宝に指定された。

開智学校の成り立ち

1868 年の明治維新を経て、日本は約 250 年続いた鎖国政策を放棄した。「文明開化」をスローガンとする近代化運動の一環として、西洋の概念や技術を導入したのである。憲法が制定され、公教育制度が整い、馬車やカメラ、洋装が普及するなど、日常生活が大きく変化した。

こうした社会変革の中で、開智学校は 1872 年に「筑摩県学」として創立され、翌年には「開智学校」と改称された。当初は女鳥羽川のほとりに建てられた旧仏閣の境内で授業が行われていた。しかし、住民たちは、新しい近代的なカリキュラムにふさわしい学校の建設を切望していた。

当時、学校建設費は国の予算には含まれていなかったため、新校舎の資金は地元で調達しなければならなかった。7 割は住民の寄付、残りの 3 割は近隣の寺院の材木を売却して調達した。

立石清重（1829-1894）と擬洋風建築

開智学校新校舎の設計は、松本市出身の大工・立石清重に依頼された。立石は、職人としての腕はもちろんのこと、西洋建築を学ぶことにも熱心であった。

立石は着工前から東京や横浜に出向き、賑やかなこれらの街に出現した最新の洋風建築を研究していた。旧開智学校校舎内の博物館には、立石が旅先で見たスケッチや設計図、解説を書き込んだ 200 冊以上のノートが保存されている。

開智学校の擬洋風建築は、1870 年代当時、デザインの最先端とされていた。開国により、西洋の建物の写真や図版が日本に入ってくるようになったが、実際の建築方法についての技術的な知識はまだ乏しかった。そこで、伝統的な木工技術しか身に付けていない大工たちは、それらの建築物の外観を模倣することにした。

その結果生まれたのが、この旧開智学校校舎に見られるような、和洋折衷の不思議な擬洋風建築である。ファサードは石やレンガをイメージしてデザインされたが、実際は木と漆喰でできている。また、正面玄関には龍と 2 匹の仙女という珍しい組み合わせの装飾が施されている。

旧開智学校校舎の完成後、立石は松本城の二の丸にあった旧松本裁判所など、多くの市民施設の建設に携わった。

明治時代（1868-1912）の教育

19 世紀後半になると、教育制度はさまざまな改革が行われた。江戸時代（1603-1867）の教育は、儒教の戒律をはじめ中国の古典を学ぶことが中心であった。江戸時代（1603-1867）の教育は、儒教など中国の古典を学ぶことが中心だったが、明治時代の新制度は、欧米の教育制度を参考に、読み・

書き・算術を基礎的な能力として重視するようになった。特に開智学校は、県下唯一の「英学」を主要科目に据えた先進的な学校であった。

開智学校は、1,051 名の生徒を集めて開校した。1870 年代の全国就学率は 30%程度であったが、開智学校は 60%に迫る勢いであった。県副知事の永山盛輝（1826-1902）は教育熱心な人物で、その熱意は松本市民も同じだったようである。開智学校は、生徒数の増加に伴い、やがて分校を設立することになる。しかし、どの教室も同じ「開智学校」であり、カリキュラムも校則も校訓も同じであった。男子部の校訓は「愛正剛」であった。

学校から博物館へ

開智学校は、1963 年まで小学校として運営された。しかし、度重なる女鳥羽川の氾濫で校舎が傷み、新築が決定された。1961 年に重要文化財に指定され、1964 年に現在の場所に移設された。現在、旧開智学校校舎は、日本の教育の近代史を紹介する博物館として、教科書や教室の備品などを展示している。

年表

1872	旧全久院跡に筑摩県学が開校。それまでの藩校や私塾とは異なり、身分に関係なくすべての子どもが通うことができるようになる。
1873	筑摩県学を開智学校と改称。
1876	地元出身の棟梁・立石清重（1829-1894）の設計による洋風校舎完成。
1880	明治天皇、開智学校へ行幸。本館 2 階の教室を天皇の座敷に改める。
1890	明治天皇、教育勅語に署名。この文書により、その後の教育政策の基礎が確立される。
1891	開智学校に図書室が設置される。この蔵書は、後に松本市立中央図書館の設立に活用される。
1896	開智学校、女鳥羽川の氾濫で校舎が大きな被害を受ける。擬洋風建築の多くが取り払われ、より簡素な建築に改められる。
1912	開智学校、盲人学級を開始。これが松本盲学校設立の礎となる。
1921	開智学校、文芸誌『小さい花』を創刊。1935 年まで刊行される。
1961	旧開智学校校舎が重要文化財に指定される。
1964	旧開智学校校舎の移築が完了し、初期の擬洋風建築が復元される。
2019	旧開智学校校舎が国宝に指定される。教育施設では初、松本市では 2 件目の国宝指定。